

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【公開番号】特開 2020-24456 (P2020-24456A)

【公開日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【年通号数】公開・登録公報 2020-006

【出願番号】特願 2019-196824 (P2019-196824)

【国際特許分類】

G 1 0 L 13/06 (2013.01)

G 1 0 H 1/00 (2006.01)

G 1 0 L 13/02 (2013.01)

G 1 0 L 13/033 (2013.01)

G 1 0 L 13/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 13/06 1 4 0

G 1 0 H 1/00 B

G 1 0 L 13/02 1 1 0 Z

G 1 0 L 13/033 1 0 2 B

G 1 0 L 13/00 1 0 0 Y

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

設定された音色に応じた楽器音波形データであって、ユーザによる和音の演奏操作に応じて取得された複数の音高データそれぞれに応じた楽器音波形データを、前記和音の演奏操作に応じて取得し、

或る歌い手の歌声を学習した学習済みモデルに、演奏前からメモリに記憶されている歌詞データを入力することにより、前記学習済みモデルが出力する音響特徴量データを、前記和音の演奏操作に応じて取得し、

取得された前記楽器音波形データに、取得された前記音響特徴量データが示す音響特徴量を合成し、

合成することにより生成される和音の推論歌声データを、ユーザが歌わなくても出力する、

電子楽器。

【請求項 2】

励振弦信号として複数の第 1 発音チャンネルからそれぞれ発振された前記楽器音波形データに、前記音響特徴量データが示す音響特徴量を合成することにより、前記和音の推論歌声データを生成する、

請求項 1 に記載の電子楽器。

【請求項 3】

前記複数の第 1 発音チャンネル以外の第 2 発音チャンネルは、伴奏データの出力のために使用され、

前記第 2 発音チャンネルからの出力には、前記音響特徴量は合成されない、

請求項 2 に記載の電子楽器。

【請求項 4】

前記和音の推論歌声データを、設定されている第 1 テンポで出力し、
ユーザによるテンポ変更指示操作に応じて、前記第 1 テンポから第 2 テンポに変更し、
変更された前記第 2 テンポで、前記和音の推論歌声データを出力する、
請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の電子楽器。

【請求項 5】

前記設定された音色は、少なくともブラス音、ストリング音、オルガン音のいずれかを
含む、請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の電子楽器。

【請求項 6】

電子楽器のコンピュータに、
設定された音色に応じた楽器音波形データであって、ユーザによる和音の演奏操作に応
じて取得された複数の音高データそれぞれに応じた楽器音波形データを、前記和音の演奏
操作に応じて取得させ、

或る歌手の歌声を学習した学習済みモデルに、演奏前からメモリに記憶されている歌
詞データを入力することにより、前記学習済みモデルが出力する音響特徴量データを、前
記和音の演奏操作に応じて取得させ、

取得された前記楽器音波形データに、取得された前記音響特徴量データが示す音響特徴
量を合成させ、

合成することにより生成される和音の推論歌声データを、ユーザが歌わなくても出力さ
せる、

電子楽器の制御方法。

【請求項 7】

電子楽器のコンピュータに、

設定された音色に応じた楽器音波形データであって、ユーザによる和音の演奏操作に応
じて取得された複数の音高データそれぞれに応じた楽器音波形データを、前記和音の演奏
操作に応じて取得させ、

或る歌手の歌声を学習した学習済みモデルに、演奏前からメモリに記憶されている歌
詞データを入力することにより、前記学習済みモデルが出力する音響特徴量データを、前
記和音の演奏操作に応じて取得させ、

取得された前記楽器音波形データに、取得された前記音響特徴量データが示す音響特徴
量を合成させ、

合成することにより生成される和音の推論歌声データを、ユーザが歌わなくても出力さ
せる、

プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

態様の一例の電子楽器では、設定された音色に応じた楽器音波形データであって、ユー
ザによる和音の演奏操作に応じて取得された複数の音高データそれぞれに応じた楽器音波
形データを、前記和音の演奏操作に応じて取得し、或る歌手の歌声を学習した学習済み
モデルに、演奏前からメモリに記憶されている歌詞データを入力することにより、前記学
習済みモデルが出力する音響特徴量データを、前記和音の演奏操作に応じて取得し、取得
された前記楽器音波形データに、取得された前記音響特徴量データが示す音響特徴量を合
成し、合成することにより生成される和音の推論歌声データを、ユーザが歌わなくても出
力する。